

群馬大学大学院理工学府電子・機械部門 教員公募

1. 職 名 助教
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 大学院理工学府 電子・機械部門 知能制御プログラム
4. 業務内容 研 究
機械力学・振動・制御を基盤とした、動的システムに対するサイバーと
フィジカルを繋ぐ解析・設計・知能化に関する研究
教 育
・大学院・学部学生に対する教育・研究指導
・担当授業科目
(学部) (専門教育) 基礎製図、機械力学材料力学演習、システムデザイ
ン実習Ⅰ、システムデザイン実験Ⅰ・Ⅱ 課題発見セミナー、課題
解決セミナー、プロジェクト参加研究等
(教養教育) 担当科目は着任時のカリキュラムに基づき決定
(大学院) 理工学特別演習(授業補助)、理工学特別実験(授業補助) 等
管理運営・社会貢献
・理工学部・理工学府の管理運営に関する業務
・理工学部・理工学府、電子・機械類が進める社会貢献活動への参画・協
力
5. 勤 務 地 桐生市天神町 1-5-1 桐生キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 9 年 4 月 1 日(以降のなるべく早い時期)
8. 専門分野 大分類：情報通信 小分類：機械力学、メカトロニクス、
ロボティクス、知能機械システム
大分類：ものづくり技術 小分類：制御、システム工学
9. 任 期 5 年
再任(5 年) 1 回まで可。任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は
任期の定めのない教員として雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。

10. 応募資格 次のいずれも満たす者
- (1) 博士の学位を有する方、あるいは着任までに博士学位取得予定の方
 - (2) 「7. 採用予定日」(令和9年4月1日)時点において、修士の学位取得後、12年以内の者
 - (3) 機械力学・振動・制御を基盤とした、動的システムに対するサイバーとフィジカルを繋ぐ解析・設計・知能化に関する研究における優れた研究業績を有し、意欲的に研究と教育を推進できる方
 - (4) 社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方
11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
- 本学教職員就業規則及び2号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
- ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
- 教職員就業規則
- https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
- 2号年俸制適用教員給与規則
- https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8:30～17:15を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
- (1日7時間45分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日～1月3日)
- 年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況 敷地内禁煙(ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)
17. 応募締切 令和8年9月30日必着
18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)
- (2) 教育研究業績書(著書・学術論文等の総括表を含む)(本学所定様式)
- (3) 科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)
- (4) 査読付き学術論文3編以内の別刷りまたはコピー
- (5) これまでの研究概要(1000字程度)

(6) 研究、教育および地域貢献に関する抱負(1000字程度)

(7) 上記書類を一つのPDFファイルとして保存した記憶媒体(CD, DVD, USBメモリなど)

19. 書類送付先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町一丁目5-1

群馬大学大学院理工学府 電子・機械部門

知能制御プログラム長 丸山 真一

簡易書留にて「電子・機械部門 知能制御プログラム(機械力学・振動・制御分野)教員応募書類」と朱書きのうえ、郵送願います。

なお、提出書類は原則として返却いたしません。

20. 選考内容 書類選考の後、必要に応じて面接を行います。

面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21. 問い合わせ先 群馬大学大学院理工学府 電子・機械部門

知能制御プログラム長 丸山 真一

電話: 0277-30-1582

e-mail: maruyama(\$@gunma-u.ac.jp) (\$は@に置き換えてください。

22. その他

(1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。

(2) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、業績(研究業績, 教育業績, 社会的貢献等)

及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。

なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。

(リンク先: <https://diversity.gunma-u.ac.jp/support/research/>)

(3) 若手、外国人若しくは海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。

(4) 若手研究者(採用年度の年度末年齢39歳以下)、女性研究者、外国人研究者について

は、研究環境を整備するための支援として、着任時に、スタートアップ経費を配分します。